

学校関係者評価報告書

愛媛県立三瓶高等学校

| 評価実施日 | | 平成 29年 2月 1日 (水) | | |
|--|----|--|----|--|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 評価・提言等 | | 提言等に対する改善方策等 | | |
| <p>1 学校運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の様々な行事へのボランティア活動参加など、さわやかに活動する生徒の姿を見ることができ、すばらしいと思う。 ○ ホームページが常時更新されており、新しい三瓶高校の情報を得ることができ、生徒の活動を楽しみにしている。また、公民館等へも学校だよりを設置されており、町民に広く学校の様子を公開されている。 ○ マニフェスト等の目標数値の設定は現状を見極めた適切なものか。結果をみて、原因を追究し、対策を講じるべきではないか。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Wi-Fi 教室の運用が始まったが、具体的な取組、有効性を、外にむけて特に中学生に周知・啓発してもらいたい。 ○ 個に応じた学習指導に取り組んでもらっており、さらに継続して実践して欲しい。 ○ 生徒アンケート結果で「家庭学習が十分にできていますか」について、4割の生徒があまりできていないと回答している。 <p>3 生徒指導・安全指導・特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒数減の影響で団体競技が組めない部活動が増えている。部活動数が減るとその部活動がしたい新入生も減ることもあり残念な気持ちになる。部活動の活性化に何か工夫はないものか。 ○ 高校生の登校マナーは、自転車通学生を含め大変良い状況である。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・更に地域に密着、貢献できる学校づくりを進める。 ・三瓶高校・三瓶高校生の良さをHPなどで積極的に公表する。また、生徒・保護者、地域の人にも活用しやすいHP作成に向けて、その改善を図る。 ・アンケートの結果で数値の低い内容について、原因を考え次年度への教育活動に活かしていきたい。 ・学校説明会や中学生1日体験入学など機会がある度に、啓発したい。 ・小規模校のメリットを生かし、一人一人の生徒の個別指導を図り、さらなる学力の向上と確かな進路実現に努める。 ・予習・復習や課題学習を徹底させ、家庭学習時間の確保と生徒が学習内容を理解できるように努めたい。 ・少ない部員ながら、各顧問の先生が熱心に指導している。教員数の減少もあり、部の精選を考える必要がある。 ・登下校の挨拶マナーを含め、交通安全意識を高める指導を充実させたい。 | | |

- 生徒アンケート結果を見ると、以前の生徒と比べ弱い生徒が増えたような気がする。生徒の要望にある、マフラーやダッフルコートの着用は必要なのか。
- 幼稚園との交流学习をありがたく思っている。以前とは違う現状の中で、今後も継続して欲しい。

4 進路指導

- 今年、国公立大学3名の内定は素晴らしい。努力の成果がでてきている。普通科である以上、進学保障が大切である。更に日常の学習へのサポートを継続して欲しい。
- 求人数の現状はどのようになっているか。

・安全面から、ネックウォーマーやウインドブレーカーの着用を認めている。

・三瓶幼稚園との合同避難訓練や家庭クラブの交流学习など地域に貢献できる活動をこれからも目指したい。

・個々の生徒の必要に応じ、マンツーマン指導やスタディサプリの運用を含め、日常の学習支援を継続して充実させる。

・求人数は500以上来ているが、生徒の希望に添う勤務地や職種が少ない。現状を踏まえて早い段階での指導をしたい。

・進学・就職ともに将来やりたい職業に就くために、高校生活で頑張れる生徒が増えるように、1年次より保護者への進路啓発を充実させたい。

5 地域との連携について

- 児童、生徒が以前とは著しく変わってきている中で、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校の各教育機関は問題を抱えた児童・生徒の対応に苦勞している。この現状を一般の地域の方にも知ってもらって、三瓶町で地域と連携した生徒の育成ができれば幸いである。
- 「奥地の海のかーにばる」「河川清掃活動」をはじめ、地域行事に三高生の力は欠かせないものとなっている。今後も、是非継続していただくとともに、さらに地区行事への高校生の参加（ボランティア活動）を促していただきたい。

・町内小・中・高、また社会教育団体との連携を深める姿勢を継続していき、三瓶のこどもたちのために何ができるかを地域と連携して考えたい。

・過疎化、高齢化が進む地域のなかで高校生の力は地域を起す原動力として欠かせない。関係機関と一緒に貢献の在り方について協議し、今後更に地域へ貢献したい。

6 その他

- 三瓶高校の良さをアピールし、人数の確保に努めてほしい。

・保護者や生徒の目線に立って、そのニーズに答えるべきところは答えていき、様々な活動をして三瓶高校に入学したいと思えるよう魅力ある学校にしたい。

・日頃の校内活動以外にも、生徒の持つ力が発揮できる諸事業に積極的に参加させ、成長させることで、三瓶高校の良さをアピールしたい。